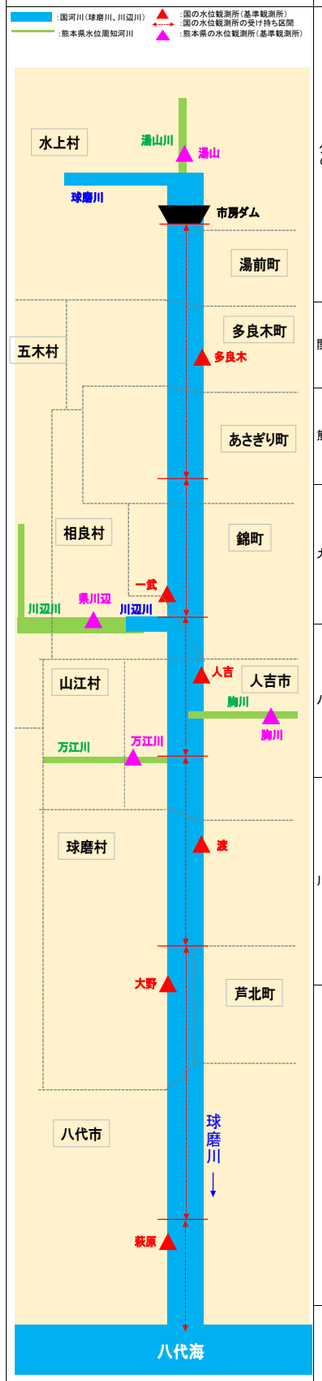
球磨川流域（緊急対応）タイムライン 総括表 【令和4年度試行運用版】（案）

様式―２

球磨川流域模式図



		1.流域準備段階 発災の5～3日前	2.流域注意段階 発災の2～1日前	3.流域警戒段階	4.早期避難段階	5.避難段階	6.避難完了段階	7.応急対応段階	流域タイムラインWeb運用会議で共有する情報
流域タイムラインの段階移行の基準	気象情報	□梅雨入り発表時 □早期注意情報(警報級の可能性)で「中」以上 □府県気象情報第1号発表 □台風の5～3日先の予報円が九州付近を通過しており、流域に大雨をもたらす可能性がある	□大雨・洪水注意報	□大雨警報（浸水害）、洪水警報 □大雨警報（土砂災害） □梅雨期末期に大雨の可能性 □線状降水帯予測		□顕著な大雨に関する気象情報（線状降水帯等の情報）が発表されたとき □球磨川流域内（管内）で土砂災害警戒情報発表	□球磨川流域内（管内）で、大雨特別警報発表 □記録的短時間大雨情報発表	災害発生 ○洪水による災害が発生を ○土砂災害が発生	
	国管理河川の水位情報			□水防団待機水位超過 萩原 1.60m（八代） 大野 5.50m（八代、芦北、球磨） 渡　3.80m（球磨、人吉） 人吉 1.50m（人吉、山江、相良、錦） 一武 2.90m（相良、錦、あさぎり） 多良木 1.60m（あさぎり、多良木、湯前）	□氾濫注意水位超過 萩原 2.00m（八代） 大野 8.00m（八代、芦北、球磨） 渡　5.00m（球磨、人吉） 人吉 2.00m（人吉、山江、相良、錦） 一武 3.50m（相良、錦、あさぎり） 多良木 2.00m（あさぎり、多良木、湯前）	□避難判断水位超過 萩原 3.50m（八代） 大野 8.00m（八代、芦北、球磨） 渡　6.00m（球磨、人吉） 人吉 3.00m（人吉、山江、相良、錦） 一武 4.30m（相良、錦、あさぎり） 多良木 3.50m（あさぎり、多良木、湯前）	□氾濫危険水位超過 萩原 4.40m（八代） 大野 10.90m（八代、芦北、球磨） 渡　7.60m（球磨、人吉） 人吉 3.20m（人吉、山江、相良、錦） 一武 4.40m（相良、錦、あさぎり） 多良木 3.50m （あさぎり、多良木、湯前）		
	県管理河川の水位情報			□水防団待機水位超過 万江川（万江川） 1.85m（人吉） 胸川（胸川）　1.19m（人吉） 川辺川（県川辺） 3.39m（相良） 湯山川（湯山）　3.00m（水上）	□氾濫注意水位超過 万江川（万江川） 2.61m（人吉） 胸川（胸川）　2.04m（人吉） 川辺川（県川辺） 3.82m（相良） 湯山川（湯山）　4.79m（水上）	□避難判断水位超過 万江川（万江川） 2.61m（人吉） 胸川（胸川）　2.39m（人吉） 川辺川（県川辺） 3.82m（相良） 湯山川（湯山）　6.40m（水上）	□氾濫危険水位超過 万江川（万江川） 3.08m（人吉） 胸川（胸川）　2.66m（人吉） 川辺川（県川辺） 4.00m（相良） 湯山川（湯山）　7.08m（水上）		
	その他			★ 気象・水位状況の激変により、氾濫が発生する可能性が高いと判断される場合 → **非常対応モード へ移行**	以降は、対応可能な行動を前倒しで実施する →				
関係機関　共通対応		□流域タイムライン発動（流域準備段階）の内部周知 □大雨・台風説明会への参加 □流域タイムラインWeb運用会議による情報共有（開催された場合） □メーリングリストによる情報共有	□流域注意段階への移行を内部周知 □大雨・台風説明会への参加 □流域タイムラインWeb運用会議による情報共有（開催された場合） □メーリングリストによる情報共有	□流域警戒段階への移行を内部周知 □流域タイムラインWeb運用会議による情報共有（開催された場合） □メーリングリストによる情報共有	□早期避難段階への移行について内部周知 □メーリングリストによる情報共有	□避難段階への移行について内部周知 □メーリングリストによる情報共有	□避難完了段階への移行について内部周知 □メーリングリストによる情報共有	□避難対応段階への移行（災害発生）について内部周知 □メーリングリストによる情報共有	
熊本地方気象台		□下記情報を提供 ・早期注意情報[警報級の可能性] ・気象台ホットライン □合同記者発表（必要に応じて）	□下記情報を提供 ・大雨注意報[浸水・土砂]　・洪水注意報 ・洪水予報：球磨川氾濫注意情報 （本川） ・土砂キキクル：黄色（土砂） ・洪水キキクル：黄色（支川） ・各種府県気象情報　・気象台ホットライン □合同記者発表（必要に応じて）	□下記情報を提供 ・大雨警報[浸水・土砂]　・洪水警報 ・洪水予報：球磨川氾濫警戒情報（本川） ・土砂キキクル：赤色（土砂）　・洪水キキクル：赤色（支川） ・各種府県気象情報　・気象台ホットライン □合同記者発表（必要に応じて）		□下記情報を提供 ・土砂災害警戒情報　・洪水予報：球磨川氾濫危険情報 （本川） ・土砂キキクル：紫色（土砂）　・洪水キキクル：紫色（支川） ・各種府県気象情報　・気象台ホットライン ・顕著な大雨に関する気象情報（キーワード：線状降水帯） □合同記者発表（必要に応じて）		□下記情報を提供 ・大雨特別警報[浸水・土砂] ・洪水予報：球磨川氾濫危険情報（本川） ・土砂キキクル：黒色（土砂） 　洪水キキクル：黒色（支川） □合同記者発表（必要に応じて） □管内市町村の対応状況の確認	❖気象概況や今後の見込み （質疑応答含む）
九州地方整備局		□福岡管区気象台との合同記者発表(必要に応じて) □インターネット（川の防災情報、水害リスクライン等）にてリアルタイム情報を提供（以降継続） □気象・海象情報収集（降雨、台風進路、高潮情報の確認）（以降継続）	□福岡管区気象台との合同記者発表(必要に応じて) □リエゾン派遣（台風接近時）※特別警報級の恐れがある場合 □TEC-FORCE（排水ポンプ車、照明車等）前進配備計画・準備※特別警報級の恐れがある場合	□福岡管区気象台との合同記者発表(必要に応じて) □事務所管内の災害情報について情報収集	□福岡管区気象台との合同記者発表(必要に応じて) □市房ダム放流情報の聞き取り（以後継続） □注意体制の発令 □事務所から河川巡視で確認された被害情報を確認	□福岡管区気象台との合同記者発表(必要に応じて) □事務所管内の被害情報等の把握（以後継続） □警戒体制の発令 □洪水予報（氾濫警戒情報）を確認 □ホットライン情報の確認（以後継続） □本省報告（危険箇所の状況）	□福岡管区気象台との合同記者発表(必要に応じて) □警戒体制の発令（大雨特別警報が発表された場合） □土砂災害に関する情報収集 □非常体制の発令（重大な災害が発生する恐れがある場合） □洪水予報（氾濫危険情報）を確認	□福岡管区気象台との合同記者発表(必要に応じて) □被害状況の把握（ヘリコプター等による迅速な状況把握） □非常体制の発令（重大な被害が発生した場合） □土砂災害に関する被害情報の把握 □洪水予報（氾濫発生情報）の確認 □リエゾン派遣（追加） □本省報告（被害情報、緊急復旧状況）	❖九州地方管内の河川情報
八代河川国道事務所		□熊本地方気象台との合同記者発表(必要に応じて) □早よ見なっせ球磨川等にてリアルタイム情報を提供（以降継続） □気象・海象情報収集（降雨、台風進路、高潮情報の確認）（以降継続） □八代市へ陸閘閉連絡体制の確認	□熊本地方気象台との合同記者発表(必要に応じて) □堰操作の準備（萩原水位観測所　1.00m）	□熊本地方気象台との合同記者発表(必要に応じて) □流域市町村の災害情報収集(以降継続) □注意体制の発令　□堰操作の実施 □ホットライン等連絡体制確認 □リエゾン派遣に関する確認 □球磨村の排水施設運転開始の準備 □八代市の陸閘閉操作準備状況確認 □水防警報（待機・準備） □樋門樋管等の操作委託先へ情報提供 □緊急内水対策車の稼動情報の共有	□熊本地方気象台との合同記者発表(必要に応じて) □警戒体制の発令 □洪水予報（氾濫注意情報）を関係機関に周知 □水防警報（出動） □河川巡視で確認された被害情報を市町村へ連絡 □リエゾン派遣の調整	□熊本地方気象台との合同記者発表(必要に応じて) □気象・海象情報収集 □洪水予報（氾濫警戒情報）を関係機関に周知 □水防警報（警戒） □ホットライン（避難判断水位到達） □ホットライン（漏水・浸食情報） □樋門・樋管操作状況の情報共有（操作員の避難状況も併せて確認）	□熊本地方気象台との合同記者発表(必要に応じて) □堤防等の河川管理施設の被害、内水や市町村の避難・被害、水防団の活動状況の情報収集(以降j継続) □非常体制の発令 □洪水予報（氾濫危険情報） を関係機関へ周知 □樋門・樋管操作員への退避指示 □排水機場運転調整（停止）開始準備・開始水位到達の通知 □ホットライン（氾濫危険水位到達）	□熊本地方気象台との合同記者発表(必要に応じて) □洪水予報（氾濫発生情報） 関係機関へ周知 □災害応援・災害対策機械等の要請・出動・受け入れ □現地対策支部の設置 □排水機場運転調整（停止）指示 □ホットライン（氾濫発生・堤防決壊） □TEC-FORCE受入れ □緊急復旧着手	❖球磨川水系国管理区間の河川水位情報（今後の見込みなど）
川辺川ダム砂防事務所		□防災情報（気象、降雨、水位、流量情報）の収集・記録・分析（以降継続） □情報収集「管内情報（被害情報）の収集分析」（以降継続）	□体制の確保 □災害対策支部設置（注意体制移行）の判断	□土砂災害警戒情報の確認 □関係機関（警察、消防、自衛隊など）との情報交換 □砂防モニターからのFAX確認や電話連絡 □管内市町村等から、避難情報や災害情報を収集（継続実施） □連続雨量200mmに達する恐れがある場合、球磨地域振興局に通行止め情報を確認 □県へ通行規制情報の確認 □リエゾン派遣の検討（準備） □警戒体制移行の判断　ホットライン等連絡体制確認、リエゾン派遣に関する確認	□土砂災害警戒情報の確認 □連続雨量200mmに達する恐れがある場合球磨地域振興局に通行止め情報を確認 □管内市町村等から、避難情報（自主避難、避難勧告、避難指示）の情報を収集 □砂防モニターからのFAX確認 □管内市町村の被害状況や対応状況確認 □県へ通行規制情報の確認 □警戒体制への移行 □ホットラインによる市町村（首長）への情報提供 □現地情報連絡班（リエゾン）を派遣 □大規模土砂災害発生の情報が入った場合、非常体制移行の判断	□土砂災害警戒情報の確認 □連続雨量200mmに達する恐れがある場合、球磨地域振興局に通行止め情報を確認 □管内市町村の被害状況や対応状況の確認 □県へ通行規制情報の確認 □砂防モニターからのFAX確認 □管内市町村等から、避難情報（自主避難、避難勧告、避難指示）の情報を収集 □ホットラインによる市町村（首長）への情報提供 □現地情報連絡班（リエゾン）を派遣 □大規模土砂災害発生の情報が入った場合、非常体制移行の判断	□土砂災害警戒情報の確認 □連続雨量200mmに達する恐れがある場合、球磨地域振興局に通行止め情報を確認 □管内市町村の被害状況や対応状況の確認 □管内市町村等から、避難情報（自主避難、避難勧告、避難指示）の情報を収集 □県へ通行規制情報の確認 □砂防モニターからのFAX確認 □ホットラインによる市町村（首長）への情報提供 □現地情報連絡班（リエゾン）を派遣 □大規模土砂災害発生の情報が入った場合、非常体制移行の判断	□管内市町村の対応状況の確認 □非常体制への移行（大規模土砂災害発生の場合） □現地対策本部設置場所の検討及び局への報告 □現地対策本部の応援要員の招集及び応援体制の局への報告 □事務所に、TEC-FORCEの応援対策支部や災害支援支部を設置 □事務所に災害支援支部を設置 □ホットラインによる市町村（首長）への情報提供及び被害状況の確認 □必要に応じて現地情報連絡班（リエゾン）を追加派遣 □大規模土砂災害の予備調査開始	❖管内の土砂災害情報
熊本県	県庁	□市町村へ住民の早期避難の呼びかけを依頼（必要に応じて） □知事等から県民へ早期避難の呼びかけを実施（甚大な被害が想定される場合） □気象庁、消防庁から気象情報を入手	□気象庁、消防庁から気象情報を入手 □高齢者等避難の発令状況確認 □対処方針の検討 □管内市町村への注意喚起、連携確認 □通信システム、情報連絡網等の再点検 □振興局等、市町村へ対応体制整備の喚起	□気象庁、消防庁から気象情報を入手 □避難情報の発令状況の把握 □市町村避難所開設状況の把握 □高齢者等避難の発令状況確認 □市町村への警戒態勢確保要請 □被害状況等の把握	□気象庁、消防庁から気象情報を入手 □避難指示の発令状況の把握 □九地整、自衛隊等LO派遣受入の検討・準備、市町村へのLO派遣の検討、準備	□気象庁、消防庁から気象情報を入手 □被害状況等の把握 □報道機関への避難判断水位超過情報発表	□県災害対策本部の設置 □被害状況等の把握 □緊急安全確保の発令状況の確認 □災害の発生のおそれ段階での応援の検討（県内応援・緊急消防援助隊） □報道機関への氾濫危険水位超過情報発表	□気象庁、消防庁から気象情報を入手 □被害状況等の把握 □緊急消防援助隊の要請、自衛隊災害派遣要請の検討 □各種応援協定等に基づく応援要請検討 □報道機関への氾濫発生情報発表 □自衛隊へ災害派遣要請	❖県管理河川の実況情報
	広域本部 地域振興局	□気象情報の把握	□対処方針の検討 □管内市町村への注意喚起、連携確認 □通信システム、情報連絡網等の再点検 □各市町村区と予防的自主避難者に対応する避難所の開設場所確認 □消防局等関係機関との連携確認	□管内市町村の避難所開設状況の把握 □管内市町村の避難情報の発令状況の把握 □管内市町村の避難者数の把握 □管内市町村の被害状況等の把握 □水防警報（待機・準備）発表	□管内市町村の避難所開設状況の把握 □管内市町村の避難情報の発令状況の把握 □管内市町村の避難者数の把握 □管内市町村の被害状況等の把握 □市町村首長へのホットライン（土砂災害警戒情報発表） □水防警報（出動）発表	□管内市町村の被害状況等の把握 □管内市町村の避難所開設状況の把握 □管内市町村の避難情報の発令状況の把握 □水防警報（警戒）発表	□地方災害対策本部の設置 □気象情報の把握 □管内市町村の被害状況等の把握 □管内市町村の避難所開設状況の把握 □管内市町村の避難情報の発令状況の把握 □管内市町村への大雨特別警報・記録的短時間大雨情報が発令された旨の伝達 □水防警報（厳重警戒）発表 □市町村長へのホットライン（氾濫危険水位到達）	□気象情報の把握 □管内市町村の被害状況等の把握 □管内市町村の避難所開設状況の把握 □管内市町村の避難情報の発令状況の把握 □氾濫発生情報発表 □市町村長へのホットライン（氾濫発生）	❖県管理河川の実況情報 ❖県管理道路の状況
	市房ダム管理所	□下記情報を発信 ・市房ダムの予備放流や事前放流の現状や今後の予定等	□下記情報を発信 ・市房ダムの予備放流や事前放流の現状や今後の予定等	□下記情報を発信 ・市房ダムの「洪水調節開始」の通知や現在の状況等の現状や今後の予定等 ・ダムの貯留状況「貯留能力の半分情報（貯水位EL275.7m超過）」	□下記情報を発信 ・市房ダムの「洪水調節開始」の通知や現在の状況等の現状や今後の予定等 ・ダムの貯留状況「貯留能力の半分情報（貯水位EL275.7m超過）」	□下記情報を発信 ・市房ダムの「緊急放流予告」の通知や現在の状況等 ・ダムの貯留状況「貯留能力の半分情報（貯水位EL275.7m超過）」	□下記情報を発信 ・市房ダムの「緊急放流開始」の通知や現在の状況等	□下記情報を発信 ・市房ダムの「緊急放流開始」の通知や現在の状況等	❖市房ダムの予備放流や事前放流の現状や今後の予定等
流域自治体 上流 ↓ 下流	水上村			□第１配備体制	□第２配備体制 ▼高齢者等避難	■災対本部設置　□第３配備体制 ▼避難指示			❖質疑応答（確認したい情報を質問） ❖自治体の対応状況を報告
	湯前町		□第１警戒体制	□第２警戒体制 ▼高齢者等避難		■災対本部設置 ▼避難指示			
	多良木町			□注意体制	■災対本部設置　□警戒体制 ▼高齢者等避難	▼避難指示			
	あさぎり町		□第１警戒体制		□第２警戒体制 ▼高齢者等避難	□第３警戒体制 ▼避難指示	■災対本部設置		
	錦町		□警戒体制 ▼予防的避難	□災害情報連絡本部 第１配備 ▼高齢者等避難		■災対本部設置 ▼避難指示			
	相良村			□注意体制	□第１配備体制 ▼高齢者等避難	□第２配備体制 ▼避難指示	□第３配備体制		
	五木村			□第１配置体制 ▼高齢者等避難		■災対本部設置　□第３配置体制 ▼避難指示			
	人吉市			□第１配備体制	□第２配備体制 ▼高齢者等避難	■災対本部設置　□第３配備体制 ▼避難指示			
	山江村		□第１次防災体制	□第２次防災体制	▼高齢者等避難	■災対本部設置　□第３次防災体制 ▼避難指示			
	球磨村			□第１配備→第２配備体制 ▼高齢者等避難	■災対本部設置　□第３配備体制 ▼避難指示				
	芦北町			□第１次→第２次警戒配備体制 ▼高齢者等避難		■災対本部設置　□第３次警戒配備体制 ▼避難指示	□第４次警戒配備体制		
	八代市		□初期体制	□注意体制 ▼高齢者等避難	■災害警戒本部設置　□警戒体制 ▼避難指示	■災対本部設置 □非常配備体制第１配備	□非常配備体制第２配備	□非常配備体制第３配備	